

ベトナム・タイムズ 土曜増刊号

— 今週の動向 —

～経済・投資・開発～

Page 3～4 ハノイ都市鉄道ニヨンーハノイ線、年末までに試験運転へ
二つの産業クラスター設立を承認＝ハノイ市
ベトナム産農水産物1万5000トン、モンカイから中国へ輸出＝3月前半

～政治・政策～

Page 4～5 自宅待機を呼び掛け＝新型コロナの感染予防で－保健省
8日以降の全入国者を調査＝カラオケ、マッサージなどは一時休業
外国人観光客へのサービス拒否、厳しく処分＝フック首相
失業率など24の目標達成＝社会政策の実現検証会議で報告
－労働省
コメ輸出手続きの一時停止を指示＝食糧の安全保障確保で
－税関総局

～企業～

Page 6～7 ユニクロ、ホーチミン2号店を7区の商業施設に開設へ
＝春夏シーズンに
サムスン「ギャラクシー」新製品の生産開始に遅延の可能性
＝エンジニアへの隔離措置で
ベトナム航空、客室乗務員の半数が無給休暇を選択
ベトジェットエア、すべての国内線搭乗客に新型コロナ保険提供
＝6月30日まで
南北鉄道SE9、10を4月28日まで運休＝ハラコ
バンブー航空、空港利用料2050億ドンが未払い＝ACV報告

～社会～

Page 8 レストランなどに休業指示＝新型コロナの感染予防で－ホーチミン市
新型コロナに乗じたサイバー攻撃に注意喚起＝公安省
ハノイ・バックマイ病院、通常通りの診療を維持

～統計・数字～

Page 9 幸福度ランキング、ベトナムは83位＝前年から11ランク上昇
－国連調査

～イベント～

Page 9 F1＝元最高責任者、今季締め来年に集中を「全員の安全のため」

～新型肺炎連～

Page 9～11 パンデミック時の商品供給、四つのシナリオ策定＝ハノイ
新型コロナの感染状況に応じた食料確保で三つのシナリオ
＝ホーチミン市
117軒のホテル、有料で部屋を提供＝新型コロナ対策に協力
新型コロナで鉄道152本運休＝900億ドンの損失
156ホテルを隔離施設に指定＝有料施設は5万～300万ドン

ハノイ都市鉄道ニヨンーハノイ線、年末までに試験運転へ

ハノイ都市鉄道管理委員会によると、ニヨンーハノイ線の建設工事が近く完成し、年末までに試験運転が実施される見通しとなった。

同路線は、ナムトゥリエム区ニヨンからキンマー通りを經由してハノイ駅までの全長12.5キロ。このうち、8.5キロの高架部分の橋桁と柱の建設工事が終了し、高架駅は80%が完成した。現在、屋根部分とエスカレーターの設置工事が進んでいる。残り4キロの区間は地下路線。試験運転が順調に進めば、来年にも商業運転が開始される可能性がある。

同路線は当初、2017年9月に完成する予定だったが、建設工事の遅れからたびたび延期されてきた。ハノイでは、カッターンーハドン線も安全評価の最終段階に入っている。(VNエクスプレス)

二つの産業クラスター設立を承認＝ハノイ市

ハノイ市人民委員会は、ホアイドク郡に二つの産業クラスター(集積地、IC)を設立する計画を承認した。ドンラーICとズオンリエウIC(フェーズ2)で、同委は技術インフラ開発に必要な資金力を十分に備えた投資家を選択するよう同郡人民委員会に指示。市商工局にはIC開発に関連した資料の精査と市人民委への報告を求めた。

ハノイ市には現在、70のICがあり、総面積は1680ヘクタールを超える。各ICで計3864社が活動し、これまでに6万人の雇用が創出された。

市は2030年までにICを159カ所(計3200ヘクタール超)に増やしたいと考えて、20年末までに138カ所(2620ヘクタール超)を目指している。21～30年は、既存五つのICの拡張と21カ所(計536ヘクタール)の新設を予定している。

開発計画によると、ソクソン、メリン、ドンアイン、ロンビエン、ザーラムの北部5区・郡のICは、電子・情報技術、エンジニアリング、自動車、新素材生産、医薬品および化粧品の分野を優先。トゥオンティンおよびフースエンの南部2郡は、ハイテク農業、繊維・縫製品や履物、機械、電子・情報技術、自動車生産・組み立ての各分野の裾野産業での誘致に注力する。ホアラック、スアンマイ、ミエウモンの西部地域は、農業向けバイオ工業、ハイテク産業、建設資材、高級家具生産を優先する。(ベトナム・ニュース電子版など)

ベトナム産農水産物1万5000トン、モンカイから中国へ輸出＝3月前半

農業・地方開発省は、中国国境のクアンニン省モンカイ国境ゲートから今月前半に1万5156トン(コンテナ624基)の農水産物が中国側に輸出されたと発表した。このうち、ドラゴンフルーツやマンゴー、ジャックフルーツ、バナナといった果物が3524トン(169基)、タピオカ粉が1万0046トン(290基)、水産物が1586トン(165基)だった。

農業省は、国境ゲートでの農産物の取引は回復しているものの新型コロナウイルス感染対策の各規定を順守する必要があるためペースは遅いと説明した。現地報道によれば、ランソン省では現在も農産物を積んだコンテナ1000基以上が国境越えを待っている。

農業・地方開発省は、財務および商工両省と国境各省の人民委員会に対し、各税関当局と協力して貿易業者をサポートし、ベトナム産品を積んだコンテナの国境越えを許可するよう要請。合わせて、商品やサービスの流れ

が完全に平常に戻ったわけではないとして、各地方には国境地域に多くの商品が集まりすぎないように求めた。(サイゴン・タイムズ電子版など)

～政治・政策～

自宅待機を呼び掛け＝新型コロナの感染予防で－保健省

保健省は26日、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、国民に自宅待機を呼び掛けた。外出は特別な理由がある場合のみとするよう求めるとともに、感染で重症化しやすいとされる高齢者については終日自宅にとどまる必要があるとしている。

また、ハノイやホーチミン市は、感染拡大を避けるため、カラオケ店や娯楽施設などを一時休業とするよう指示を出している。

ベトナムでは3月6日以降、外国人旅行者や海外からの帰国者を中心に感染者が急増。航空会社のパイロットや客室乗務員、病院の医療スタッフ、医師らにも感染者が出ている。政府は、海外からの航空便を最低限に減らすよう求めつつ、地方の保健当局に病院の感染防止体制を改めて検証するよう要請している。(ベトナム・ニュース電子版)

8日以降の全入国者を調査＝カラオケ、マッサージなどは一時休業

グエン・スアン・フック首相は24日に開いた新型コロナウイルス感染対策会議で、今月8日以降に入国したベトナム人・外国人の全員に関する情報を収集するよう公安省に指示した。これを受け、トー・ラム公安相は各地の公安当局に対し、24日までに入国した人のリストを作成し、25日夕までに報告するよう求めた。

フック首相はまた、カラオケやマッサージ、バー、クラブ、映画館などを一時休業にすることも指示。多くの人が集まって感染が広がる事態を回避するためとしている。さらに、運輸省には外国の航空会社を含むベトナムへの到着便を最小限にするよう要請。集中隔離施設が対応しきれなくなる状況を避けるため、国防省、外務省、保健省、公安省との連携を求めた。実際、ホーチミン市内の隔離施設は海外から帰国するベトナム人の急増ですでに満員になりつつあるため、運輸省は各航空会社にタンソンニャット国際空港への輸送を25日から31日まで一時停止するよう求めている。

その他、ハイフォン市は25日、市内に入る国道などに新型コロナウイルスの感染防止を目的とする検問所を6カ所設置した。検温だけでなく、ベトナムに最近入国した外国人、ベトナム人に旅行スケジュールを確認し、健康状態に関する申告を求めるなど、新たな感染への監視体制を強めている。(ベトナム・ニュース電子版など)

外国人観光客へのサービス拒否、厳しく処分＝フック首相

グエン・スアン・フック首相は18日、外国人観光客へのサービスを拒否あるいは差別する行為があれば厳しく処分する考えを表明した。

これは、宿泊施設やサービス施設が新型コロナウイルス感染への恐れから外国人へのサービスを拒否したり差別する徴候があるとの報道を受けた対応。ベトナムでは最近、新型コロナ陽性と確認された症例の多くが欧州から持ち込まれたものだったことや、世界保健機関(WHO)が「パンデミック(世界的な流行)の中心は中国から欧州

に移行した」との認識を示したため、こうしたトラブルがみられるようになった。

フック首相は、ベトナムの友好的で親切・安全というイメージを守るため、すべての省・市人民委員会に地域の状況を確認して外国人観光客への差別が行われないよう求めた。文化スポーツ観光省には、保健当局の指示に沿って新型コロナウイルス対策を各地方に指導し、外国人観光客の安全を守るための支援策を講じるよう要請。外務省には、偶発的な事件を回避するためのガイドラインを策定し、事件に対処する際は各国大使館と協力するよう指示した。(国営ベトナム通信など)

失業率など24の目標達成＝社会政策の実現検証会議で報告－労働省

グエン・スアン・フック首相は24日、第11期ベトナム共産党第5回中央委員会第5回総会で採択された2012～20年期の社会政策の実現状況を検証する会議を主催した。会議で、労働・傷病軍人・社会事業省は、失業率を2～2.2%に抑えるなど、26の目標のうち24の目標が達成されたと報告した。

労働省の報告によると、現在ベトナム全土で確認されている920万人の革命功労者のうち、130万人超が毎月の手当てを享受しており、革命功労者世帯の99.5%が地域住民と同等かそれ以上の生活水準にあった。

また、毎年150万～160万人の雇用が創出され、10万人以上が海外に労働派遣。失業率は2～2.2%の水準を維持しており、都市部の失業率も3.5%未満に抑制された。(農家や自営業などを対象とする)任意社会保険には、昨年約30万人が加入し、計約57万4000人となった。健康保険は人口の90%に相当する約8530万人が加入し、目標を4年早く達成した。

フック首相は会議で、残る二つの目標である「子どもの栄養失調をなくす」と「農村地域住民の浄水使用状況を改善する」にも取り組むよう要請。「社会政策は富の格差縮小と社会的不平等の減少を図りつつ包括的な発展を確保しなければならない」と強調した。

さらに、同首相は、当面は新型コロナウイルスとの闘いに全力をあげる必要があるが、すべての人のための社会保険、特に任意保険に対する柔軟で多様な現代的な社会保険システムを構築するよう促した。(ベトナム・ニュース電子版など)

コメ輸出手続きの一時停止を指示＝食糧の安全保障確保で－税関総局

ベトナム税関総局のマイ・スアン・タイン副局長は、コメの輸出手続きを一時停止するよう各省・市税関局に求める緊急文書に署名した。これは、「新型コロナウイルス感染が拡大する状況下での食糧安全保障」に関する閣議でグエン・スアン・フック首相が示した結論に沿った措置で、24日午前0時から実施された。

同文書によると、各省・市の税関局は食糧の密輸対策を強化する必要もある。

フック首相は18日に議長を務めた会議で、いかなる状況下においても食糧安全保障は絶対的に確保されなければならないと強調していた。

コメはベトナム人にとって主要な食糧であり、国の「稼ぎ頭」の一つでもある。2019年、ベトナムは前年比4.1%増となる637万トンのコメを輸出し、28億1000万ドルを獲得した。(国営ベトナム通信など)

ユニクロ、ホーチミン2号店を7区の商業施設に開設へ＝春夏シーズンに

ユニクロ・ベトナムは23日、今年の春夏シーズンにホーチミン市2号店をオープンすると発表した。同市7区の商業施設「SCビーボシティー」内に2000平方メートル超の売り場を構える。

ユニクロは2019年12月に同市1区で「ドンコイ店」を開業し、20年3月にはハノイ1号店もオープンさせた。今回はベトナム3店舗目となる。当面はハノイとホーチミン市での出店を急ぐ計画で、秋以降にハノイ2号店を開く予定としている。(ジングなど)

サムスン「ギャラクシー」新製品の生産開始に遅延の可能性＝エンジニアへの隔離措置で

サムスン電子が今夏に予定しているスマートフォン「ギャラクシー・ノート」の新製品生産開始が遅れる可能性が出ている。新型コロナウイルス感染の拡大防止のためベトナム政府が韓国からの入国を制限しているためだ。

サムスンは、世界で販売するギャラクシーの約半分をベトナムで生産しており、有機発光ダイオード(OLED)や家電品もベトナムで生産している。ただ、スマホ新製品向けOLEDの生産ライン立ち上げを担当するエンジニアなどが入国を制限されているため、新製品の生産スケジュールが遅れる可能性があるという。

ベトナム政府は先に、韓国からの入国者を2週間隔離する措置を発表した。その後、韓国政府の要請を受け、サムスンのエンジニアには厳格な健康管理を行うことを条件に入国5日目から仕事に従事できる特別隔離措置を認めている。(ベトナム・インベストメント・レビュー電子版など)

ベトナム航空、客室乗務員の半数が無給休暇を選択

新型コロナウイルス感染拡大による運航休止などの影響で収益の減少に直面しているベトナム航空で、これまでに全客室乗務員の約半数に当たる1400人が無給休暇を申し出た。

同社のファン・ゴック・リン客室乗務部長は、会社は1～3カ月の無給休暇や月1週間以上の無給休暇取得など複数の案を提示してくれたが、客室乗務員の半数が3月から5月まで無給休暇を取得して自宅待機する案を選択したと説明。それ以外の客室乗務員はフルタイムで働いているが、給料の一部を自主返納していると話した。

同社のズオン・チー・タイン最高経営責任者(CEO)によれば、今年は上級管理職の給与を40%、中間管理職は20～30%それぞれ削減する予定。

ベトナム航空は先に中国便と韓国便の運航をすべて休止。18日からはフランスとマレーシアへの運航を停止した。他の路線もまもなく休止し、4月末まですべての国際線の運航を見送る見込みだ。

運輸省では、ベトナム航空業界は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年は30兆ドン(約13億ドル)超の収入減に見舞われる可能性があるかと推定している。ベトナム航空は、今年の航空旅客数が250万人減少し、12兆ドンの収入減少につながると推定している。(VNエクスプレスなど)

ベトジェットエア、すべての国内線搭乗客に新型コロナ保険提供＝6月30日まで

格安航空会社ベトジェットエアは3月23日から6月30日まで、すべての国内線搭乗客に「スカイ・コビド・ケア保険」を提供する。搭乗客が新型コロナウイルスに感染した場合、その感染減にかかわらず2000万ドン(約856.9ドル)から最大2億ドンの保険金を給付する。保険のカバーする期間は搭乗日の00:01から30日間。

保険の条件を満たすには、客はチケット購入とサービス利用の際にベトジェット社の「契約条件」に従ってすべての情報を提供し、ベトジェットおよび保健省、各関係機関の感染対策に関するすべての規制を順守する必要がある。(国営ベトナム通信など)

南北鉄道SE9、10を4月28日まで運休＝ハラコ

鉄道会社ハノイ鉄道輸送(ハラコ)は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ハノイとホーチミン市を結ぶ南北統一鉄道の列車「SE9」と「SE10」の運行を3月26日から4月28日まで休止すると発表した。これ以外の「SE1」から「SE8」までの各列車は運行を続ける。

「SE9」と「SE10」の運休措置にともない、「SE1」はハノイ、フーリー、ナムディン、ニンピンの各駅で運行スケジュールを調整する。また、ハノイーイエンバイ間を土・日に運行する「YB3」「YB4」を3月28日から運休とし、ハノイークアンチエウ間を毎日運行する「QT1」「QT2」は週末のみの運行とする。これにより、「QT1」は毎週土曜日午後4時20分にハノイを出発、「QT2」は毎週日曜日午前5時40分のタイグエン省クアンチエウ出発となる。

ハラコはこれまでに、新型コロナ感染拡大防止のためとして、ハノイーラオカイ線のすべての観光列車とハノイーダナン線「SE19」「SE20」の運行を一時的に停止している。(ベトナム・ニュース電子版など)

バンブー航空、空港利用料2050億ドンが未払い＝ACV報告

ベトナム空港会社(ACV)は新興格安航空会社(LCC)のバンブー航空が空港利用料の支払いを常に遅延しており、現在も2050億ドン(約880万ドル)が未払いになっていると運輸省に報告した。

ACVは運輸省への報告の中で、バンブー航空は運賃に上乗せして使用料を徴収しており引き渡すのが筋だと主張。また、バンブー航空の支払いは平均で約束の期限より42日遅れるため、昨年5月からこれまでに計24回も支払いを求める通知を送付しなければならなかったと説明し、運輸省とベトナム航空局に対し、バンブー航空に期限内の支払いを指導するよう求めた。

一方、バンブー航空は23日に出した声明で、原因はACVからの請求額が他の航空会社に対するものより1.5～2倍高いためだと説明。現在、双方で交渉の最中であることが支払いの遅延を引き起こしたと述べた。加えて、ベトナムの各航空会社はバンブー航空を含めて新型コロナウイルスの感染拡大で収益が落ち込んでおり、ACVからのさらなる支援を必要としていると訴えた。

ベトナムの航空会社は、着陸料や停留料など20項目にわたる費用をACVなどの航空管理機関に支払う必要がある。航空専門家のルオン・ホアイ・ナム氏によれば、2019年に各航空会社が支払った空港利用料は10兆ドン、離着陸料は2兆ドンに上った。

航空各社は先ごろ、新型コロナの拡大で打撃を受けているとしてこれらの料金の引き下げを要請した。ACVは先週、3月から8月まで六つのサービス料を10～50%引き下げ、一つは免除すると発表した。(VNエクスプレスなど)

レストランなどに休業指示＝新型コロナの感染予防で－ホーチミン市

ホーチミン市人民委員会は24日、市内のレストランなどに一時休業するよう求める指示を出した。

対象となるのは、30人以上にサービスを提供する飲食店、ビアホール、ビリヤード場、スポーツジム、遊園地、スパ・エステ店、理・美容室などで、期間は24日午後6時から31日までとしている。

今後、市の文化・スポーツ局、観光局、保健局、商工局などの関係部局と各区・郡人民委が休業指示の実施状況を点検する。

ホーチミン市は先に、映画館、バー、カラオケ、ディスコ、劇場などに15日から月末までの休業を要請。市人民委のグエン・タイン・フォン委員長は、今後2週間が新型コロナウイルスとの戦いで重要な局面になると述べ、さまざまな対策を組み合わせる必要があると訴えた。(VNエクスプレスなど)

新型コロナに乗じたサイバー攻撃に注意喚起＝公安省

公安省は19日、いくつかのハッカー集団が新型コロナウイルスの流行に乗じてベトナムなど世界各国の機関や組織に意図的なサイバー攻撃を仕掛けているとして警鐘を鳴らした。

同省によると、サイバーセキュリティ・ハイテク犯罪対策局(公安省)が先ごろ、電子メールを介して悪意あるコードを拡散するというサイバー攻撃キャンペーンを発見。新型コロナに関連した情報を使って人々の注意を引き付けていたという。最近では、「グエン・スアン・フック首相の指示」というタイトルのファイルを添付した電子メールを介して悪意あるコードを広めていた。

公安省は、インターネットに接続している間は注意を怠らないよう警告。正規のウイルス対策ソフトをインストールし、デバイスなどを常に最新の状態に保っておく必要があると注意を促している。(ベトナム・ニュース電子版など)

ハノイ・バックマイ病院、通常通りの診療を維持

ハノイの国立バックマイ病院が女性看護師2人の新型コロナウイルス感染により診察を停止しているとの情報は誤りで、いつも通りの診察と救急医療を行っていると報じた。ただ、入院病棟の混雑を避けるため、健康保険でカバーされない診療を停止したほか、一部の患者には今後、2カ月分の薬を処方して自宅で服用してもらい、病院の混雑緩和を図るといふ。

バックマイ病院では現在、患者とその家族を守るため、すべての来院者に体温チェックとマスクの着用を要請している。エレベーターやドアなど接触リスクの高い場所には手指消毒剤を設置した。また、病院の出入り口付近の混雑を避けるため、門前への物品配送を一時停止したほか、病院敷地内のバイクタクシーの活動も禁止した。(キンテー・ドーティ)

幸福度ランキング、ベトナムは83位＝前年から11ランク上昇－国連調査

国連が発表した「世界幸福度報告書(2020年版)」で、ベトナムは世界156カ国・地域中83位となり、前年から11ランク上昇した。

報告は今回が8回目。1人当たりの国内総生産(GDP)や社会支援、平均健康寿命、自由度などの項目を基準に幸福度を算定し、世界各国の幸福に対する認識度をランク付けしている。首位はフィンランドで、デンマーク、スイス、アイスランドが続いた。

国連は2012年7月、幸福と健康の実現を世界の目標にし、3月20日を国際幸福デーと制定した。(国営ベトナム通信)

F1＝元最高責任者、今季諦め来年に集中を「全員の安全のため」

自動車レースF1の前最高責任者バーニー・エクレストン氏(89)は、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)により、今季のシーズン継続は難しいとの見解を示している。

F1では、今季開幕戦となるはずだったオーストラリア・グランプリ(GP)とモナコGPが中止となり、バーレーン、ベトナム、中国、オランダ、スペイン、アゼルバイジャンでのレースは延期に。今後に予定されているカナダ、フランス、オーストリア、英国GPも現在の情勢下では延期される可能性が高い。

エクレストン氏はロイターに対し、「ことしのレースを終了することについて話し合わなければならないと思う。全員の安全のためにできることはそれだけだ」と述べ、今季は断念し、来年に集中するべきとの見解を示した。(ロイター通信より抜粋)

<https://jp.reuters.com/article/f1-ecclestone-idJPKBN21F06Y> ご参照

パンデミック時の商品供給、四つのシナリオ策定＝ハノイ

ハノイ市商工局は、新型コロナウイルスの発生により隔離エリアとなった地域の住民に十分な商品を実際に供給できるための四つのシナリオを策定した。市人民委員会のグエン・ドク・チュン委員長はハノイでのパンデミック(世界的流行)に備えて商品を準備するため、市商工局および企業と連携している。

四つのシナリオが次の通り。

(1)一つの区・郡に隔離エリアが一つ。住民数は200～2350人。隔離期間は14日間。この場合の商品供給は通常通り。

(2)一つの区・郡に隔離エリアが五つ。住民数は計1000～1万2750人。隔離期間は14日間。この場合も商品供給は通常通りとした。

(3)感染者が20人を超え、一つの区・郡に10以上の隔離エリアがあり、住民数が2000～12万7500人。隔離期間は14日間。この場合は、商品は市の流通システムにおいて1日を通じて規制する必要がある。

(4)感染者が1000人を超え、30区・郡のすべてに隔離エリアがあり、エリア内の住民数が3万～38万2500人。隔離期間は14日間。この場合、一部の企業は生産・事業活動を一時的に停止しなければならない可能性があり、商品の需要は数日で急増し、市内の備蓄がなくなることが考えられるため、近隣の省・市から商品を調達する必要がある。

市商工局は、サプライヤーおよびメーカーに対し、供給システムと住民の需要のための商品確保を指示した。ビッグC、ハプロ、インティメックス、セイカマートなどのスーパーマーケットは、必要な食糧・食品の備蓄を通常より300～500%増やしている。(ベトナム・ニュース電子版など)

新型コロナの感染状況に応じた食料確保で三つのシナリオ＝ホーチミン市

ホーチミン商工局は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、食料および必需品の供給に関する三つのシナリオを策定した。

一つめは、感染者が100人未満の場合。この場合、市民は日々の買い物を週末などの買いだめに移行し、食料や必需品の買いだめによって一時的な品不足が起きる可能性があるため、同局は企業などと協力して十分な商品供給を図る。また、市場管理局や各区・郡人民委員会と連携して、投機行為が起きないように監視を強化する。さらに、市場を安定させるには通常より30～40%多い商品を供給し、状況によっては50～100%増やせるよう準備する。

二つめは、感染者が300人未満の場合。この場合、商品供給量を通常より30～100%増やすことで市場の安定を図れると同局はみている。

三つめは、感染が社会に広く拡大し始めるという最悪のケース。この場合、同局は市人民委員会に複数の商品の調達と流通の方針を提示する。食品や必需品などの製品および原材料の輸出は制限される。

市商工局によれば、現在、卵や砂糖、家禽などいくつかの食品は市場安定のため生産量を月あたり数千トン増やしている。また、マスク不足は起きておらず、23の企業が1日に約300万を生産し、このうちの100万が病院に提供されている。

同市はこれまでに、感染拡大防止策として、バーやクラブ、レストランの営業休止などいくつかの措置を導入した。(VNエクスプレスなど)

117軒のホテル、有料で部屋を提供＝新型コロナ対策に協力

ベトナム観光総局によると、新型コロナウイルス対策の隔離施設として有料で部屋を提供するプログラムに、これまでにベトナム全土で117のホテル・宿泊施設が登録した。多くはクアンニン省とダナン市のホテル・宿泊施設。登録はまだ受け付けており、今後さらに増える可能性がある。

ホーチミン市観光局は、市内9軒のホテル、リゾート、キャンプ場が登録したと明らかにした。同局のグエン・ティ・アイン・ホア副局長は、18日に一つのグループが隔離のためにカンゾー郡のフォンナム・リゾートに移送されたと報告。同リゾートのオーナーはこの施設を隔離拠点として市に無料で貸し出したことを説明した。

また、サイゴン・ツーリストが運営するサイゴン・カンゾー・リゾートも隔離のために開放される予定で、ホア副局長

は困難な時期におけるこれらの企業の貢献に謝意を示した。これらのホテルは厳しい医療要件を満たさなければならず、従業員は医療従事者をサポートするための訓練を受ける必要がある。

ダナン市では、地元のビンティエン・ダナン・カンパニーが127室のダナン・リバーサイド・ホテルを隔離施設として市に貸し出した。(サイゴン・タイムズ電子版など)

新型コロナで鉄道152本運休＝900億ドンの損失

運輸省によると、鉄道部門は新型コロナウイルスの感染拡大による需要急減で計152本の列車が運休となり、900億ドン(約380万ドル)の損失に直面している。同省は、状況がさらに悪化すれば生産性は前年同時期比40～80%低下すると警鐘をならし、国有ベトナム鉄道のブー・アイン・ミン会長は、状況はいまだかつてなく深刻だと述べた。

ハノイ鉄道輸送は、ハノイとラオカイ省を結ぶすべての観光列車とハノイ・ダナン間の列車運行を19日から停止した。ハノイとゲアン省ビン市、ハイフォン市、タイグエン省を結ぶ各路線は運休や運行スケジュールを調整しており、ハノイ・ホーチミン市間も1日1便減の4本とすることを検討している。

サイゴン鉄道輸送は、ホーチミンとクイニョン、ダナン、ファンティエットへの運行を4月末まで停止したほか、一部の長距離路線で最大50%の運賃割引を提供している。

ベトナム鉄道は、こうした損失分を補うため、旅客列車を使ったエクスプレス配送サービスを増やし、ばら積みや着払いによる貨物輸送も行っている。(ベトナム・ニュース電子版など)

156ホテルを隔離施設に指定＝有料施設は5万～300万ドン

ベトナム全土で24日までに156のホテルやリゾート施設が新型コロナ対策の隔離施設に指定された。無料と有料の施設があり、有料施設の料金は1泊5万～300万ドンとなっている。

観光総局のデータによると、156施設で計1万4700超の部屋と1万8300を超えるベッドが提供できる。多くが無料か割引価格を提供している。大型施設としてはダナンのココベイが客室数約1800にのぼる。また、電気・水道代と人件費などの諸経費を除いて月2億ドンで隔離施設として国に貸し出したところもあるという。

部屋の料金はさまざまで、ドンナイ省では高級ホテルなら1室170万～300万ドン、ホステルなら5万～30万ドンで利用できる。ハイフォン市では40万～70万ドン、ホーチミン市は1室30万～80万ドン程度。

保健省は今年20日に出した政令で、各省・市人民委員会に対し、現段階では有料隔離施設を提供するのは外国人のみとするよう要請した。(サイゴン・タイムズ電子版など)

◆◇ 各紙の紹介 ◇◇

- ラオドン … ベトナム労働組合総連合機関紙
ニャンザン … ベトナム共産党中央機関紙
トイバオキンテー … 経済科学協会発行
ダウトゥ … 計画投資省機関紙
タインニエン … ベトナム青年連合会機関紙
トイチエ … ホーチミン共産青年団機関紙
など

ベトナム・タイムズ

◆◇代表：朝妻小津枝 ◇◇

〒112-0014

東京都文京区

関口 1-4-10

(株)ISC 気付

TEL: 080-5070-4707

E-MAIL:

vietnamtimes@hotmail.co.jp

◆ 在ベトナム購読窓口 ◆

担当: Thuy (Ms.)

TEL: 091-515-3640

Web サイト

<http://vietnamtimes.jp>



ベトナム・タイムズ サービスのご案内

◎デイリーニュースの配信

- + 現地各紙から最新ニュースをピックアップ⇒A4サイズ1枚に編集して毎日メールでお届け&週末版では1週間の情報をより詳しい内容で配信
- ⇒購読料は法人契約が月 55ドル/5500円 個人は 30ドル/3000円

◎各種翻訳サービス

- + 契約書類・法律文書・各種文書、パンフレット etc…
- ⇒ 400字25ドル/2500円から

◎現地調査サービス

- + 現地視察コーディネート
- + アテンドなど

その他、お気軽にご相談ください。